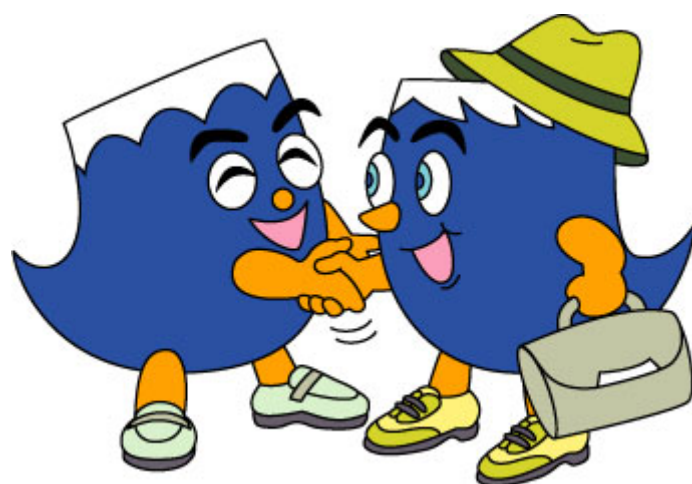


静岡県庁

にほんご  
「やさしい日本語」の  
てび  
手引き

「やさしい にほんご」で みんなと つながる!



静岡県 県民生活局 多文化共生課  
(平成 30 年2月発行)

# 目次



現在、静岡県には 120 の国と地域を超える約 8 万人(平成 29 年 6 月現在)もの外国人県民が暮らしています。

様々な国籍の外国人県民に情報を伝えるためには、母語への翻訳が最適な手段ですが、多言語への翻訳には限界があります。

そこで、多文化共生課では、庁内の皆さんに、外国人県民の多数が理解できる「やさしい日本語」の活用を推奨します。

## 1 章 はじめに

## 2 章 「やさしい日本語」とは

- (1) 「やさしい日本語」とは？
- (2) なぜ、「やさしい日本語」が必要なの？
- (3) 誰を対象に使うの？
- (4) 実際にどういう場面で使われているの？

## 3 章 「やさしい日本語」の作り方

- (1) 「やさしい日本語」のための文書の選択
- (2) 「やさしい日本語」のための文書の再構成
- (3) 「やさしい日本語」変換のための基本ルール

## 4 章 練習問題

### 「やさしい日本語」に書き換えよう！

- (1) 基礎問題
- (2) 応用問題

## 5 章 活用事例・提案

- (1) 事例：庁内で実際に作成したガイドブック、配布資料、テキスト
- (2) 提案：庁内の文書、看板、表示等を「やさしい日本語」に書き換えよう！

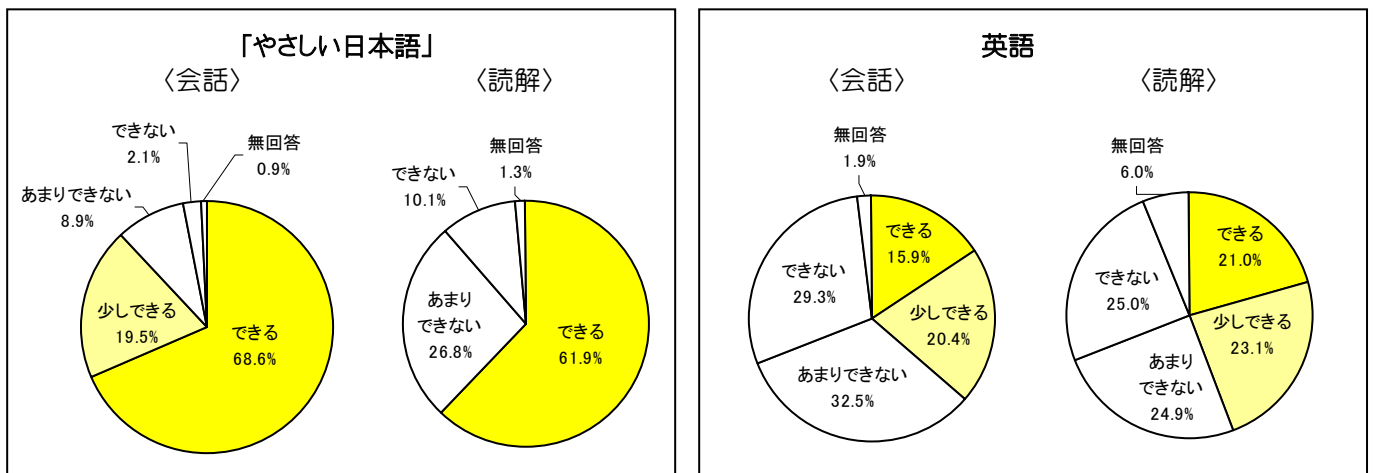
## 6 章 参考文献、ウェブサイト

## 1章 はじめに

多文化共生課が 2016 年に外国人県民を対象に実施した調査では、日本語能力を問う設問で、会話力では、「日本語は話せない」2.1%、「名前や生まれた国などの話ができる」8.9%、「自分の家族や国などについて簡単な質問に答えられる」19.5%、「買い物のとき自分の欲しいものを詳しく説明できる」15.2%、「市役所や病院に行っても、日本語で自分の希望を言ったり、別のひとと話ができる」が 53.4%という結果が出ました。また、読解力では、「日本語は読めない」10.1%、「カタカナやひらがなで書かれた国名や都市名を読める」26.8%、「ひらがな付きであれば市役所や学校からのお知らせを読める」28.6%、「市役所や学校からのお知らせを読める」が 14.2%、「新聞を読める」が 19.1%でした。

これを 2 章で述べる「やさしい日本語」の基準に照らして置き換えてみると、「やさしい日本語」であれば理解できるという外国人県民が 6 割を超えることになります。その一方で、英語力を問う設問では、「できる」と回答した外国人は、会話力において 2 割弱、読解力においては 2 割強に留まり、英語に翻訳さえすれば、多くの外国人に情報が伝わるわけではないことが判明しました。

### 【外国人県民の日本語と英語の能力】



(平成 28 年度静岡県多文化共生に関する基礎調査)

つまり、多くの外国人県民にとって、「やさしい日本語」は「英語」よりも有効な情報伝達手段というわけです。

この手引きでは、初めての方にも分かりやすく説明した「やさしい日本語」の作り方と、行政分野での活用事例を示しております。

この手引きを参考に、是非、各課において、「やさしい日本語」を活用した情報発信に努めてください。御協力をお願いします。



## 2章 「やさしい日本語」とは

### (1) 「やさしい日本語」とは？

「やさしい日本語」とは、普段使われている言葉を、外国人にも分かるように配慮した簡単な日本語のことです。日常的な場面や身近な話題で使われる日本語を「ある程度」理解できる人が使うレベルです。

1995年の阪神・淡路大震災で、日本にいた多くの外国人が、日本語を十分に理解できず、必要な情報を得られないがために適切な行動を取ることができず、被害を受けました。

そこで、災害発生時に、日本語が不慣れな外国人に、素早く的確に情報を伝えることを目的に考案されたのが「やさしい日本語」です。

考案当初は、災害時の情報伝達手段として使われていましたが、現在では、自治体や外国人支援団体で、生活情報や観光情報などを伝える手段としても使われるようになりました。



### (2) なぜ、「やさしい日本語」を使うことが有効なの？

静岡県内には、120を超える国・地域から約8万人もの外国人県民が暮らしています。全ての外国人県民に配慮した「多言語」による情報発信ができれば良いですが、それには限界がありますし、コストもかかります。特に、災害時は、翻訳できる人材も被災し、翻訳作業が困難になります。

しかし、1章で述べたように、外国人県民のうち、「やさしい日本語」であれば分かるという方が、実は沢山いるのです。

外国語が分からない日本人職員でも、「やさしい日本語」のルールさえ習得すれば、誰でも迅速に情報を発信することができます。そのため、「やさしい日本語」は、外国人への情報発信として、大変有効な手段だと考えられるのです。



### (3) 誰を対象に使うの？

「やさしい日本語」は外国人への情報伝達を目的に考案された言葉ですが、普通の日本語より簡単で、分かりやすい言葉に変換されていることから、小さな子どもや高齢者、障害を持った人などにも有効な情報伝達手段だと考えられています。

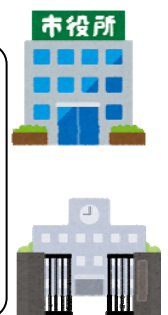
外国人対象の文章だけでなく、子ども、高齢者、障害を持った人などを対象に情報を発信する際にも、是非、「やさしい日本語」を活用してください。



### (4) 実際に、どういう場面で使われているの？

実際に、看板、掲示物、文書等で「やさしい日本語」が使用されています。

- ① 国や地域の制度で、日本での生活に直接関わるもの(税、補助金、年金、県営・市営住宅等)
- ② 日本で生活していく上で特に必要なもの(就業、教育、保育に係る情報等)
- ③ 命を守るために必要なもの(防災、救急、保健・予防、交通ルールに係る情報)
- ④ 生活情報誌
- ⑤ その他外国人向けのもの(日本語学習講座、年金や労働などの相談に係る情報等)



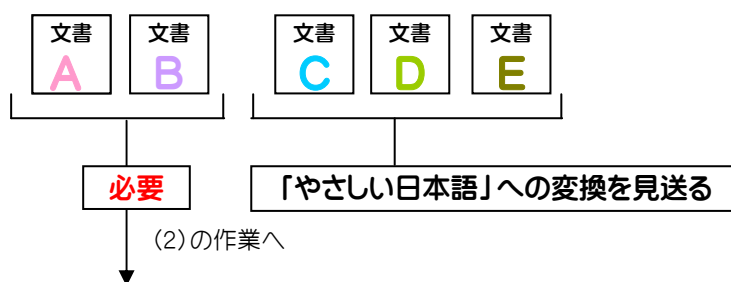
### 3章 「やさしい日本語」の作り方

この章では、(1)「やさしい日本語」のための文書の選択、(2)「やさしい日本語」のための文書の再構成、(3)「やさしい日本語」変換のための基本ルールについて説明していきます。

#### (1) 「やさしい日本語」のための文書の選択

日本人に提供するすべての文書を、外国人にも同様に提供するに越したことはありませんが、実際に「やさしい日本語」にするには、それなりの手間がかかります。

そこで、「やさしい日本語」による文書を作成する前に、まず、「やさしい日本語」にするために取り組もうとしている文書のうち、外国人にとって本当に必要な情報はどれかを判断することから始めます。



#### (2) 「やさしい日本語」のための文書の再構成

必要と判断した文書の中から、**不要と思われる情報を削除**し、**情報の優先順位**を考えながら、文書を再構成する作業を行います。情報量が多い文書の場合、日本語に不慣れな外国人は、後方にある重要な情報を見過ごしてしまう可能性があるからです。

また、日本人にとっては前提となることでも、外国人には**補足情報**が必要なものもあるので、そのような場合は、説明を追加します。

・必要と判断した文書の中から、不要と思われる情報を削除(できるだけシンプルに)

・優先順位の高い情報から順番に並べる(ただし、関連する情報は近くに)

・必要に応じて、補足情報を関連情報の後に加える

受信者、発信元、連絡先、日付などは必要な情報なので、削除しないよ!!



(1)、(2)の作業後は、次頁(3)の基本ルールに従い、「やさしい日本語」に置き換えていきます。必要に応じて、写真、イラストなどを入れたり、図表を使って文を構成したりして、分かりやすくしてください。

### (3) 「やさしい日本語」変換のための基本ルール

「やさしい日本語」で文書を作るときの基本ルールは、以下のとおりです。各ルールの詳細は、次頁から説明していきます。

No	ルール	詳細ページ
1	一文を短くして、文の構造を簡単にする。	P5
2	難しい言葉を避け、簡単な言葉を使う。	P5～6
3	災害時によく使われる言葉や、知っておいたほうがよいと思われる言葉は、そのまま使う。 その言葉の後に、かっこ書きくゝで意味を補足する。	P6
4	外来語(カタカナ語)はなるべく使わない。使うときは注意する。	P6
5	擬態語や擬音語は避ける。	P7
6	動詞を名詞化したものは分かりにくいので、できるだけ動詞文にする。	P7
7	あいまいな表現は避ける	P7
8	二重否定の表現は避ける。	P8
9	文末表現はなるべく統一する。	P8
10	ローマ字は使わない。	P9
11	時間や年月日を外国人にも伝わる表記にする。	P9
12	漢字の使用量に注意する。 全ての漢字にふりがなをふる。	P10
13	文は、文節ごとに「分かち書き(余白を空けて区切る)」にして、言葉のまとまりを認識しやすくする。	P10
14	絵、写真、図表などを使って分かりやすくする。	P10

なお、次頁からの「やさしい日本語」の例示には、ルール No.9の「文末表現はなるべく統一する『丁寧語(です・ます)の使用』」、ルール No.12 の「全ての漢字にふりがなをふる」、ルール No.13 の「分かち書き」を反映させています。



基本ルールは、弘前大学人文社会科学部社会言語学研究室作成「『やさしい日本語』にするための 12 の規則」を参考にしています。

## No.1 一文を短くして、文の構造を簡単にする。

### 一つの文に一つの情報

主語と述語を一組だけ含む文にしてください

例： 余震が起きるおそれもあるため、余震に対して十分に注意してください。

→ 余震に 気をつけて ください。

\*「余震」については、ルールNo.3で説明します。

### 連体修飾節

名詞にかかる節は、構造を単純にしてください。

例： 地震の揺れで壁に亀裂が入ったりしている建物

→ 地震で 壊れた 建物

\*ルール No.2 で語彙について述べますが、一つひとつの語彙を「やさしい日本語」にするのではなく、意味を考えて変換することが大切です。

## No.2 難しい言葉を避け、簡単な言葉を使う。

原則、日本語能力試験のN4～N5(旧試験の3～4級)程度の語彙を使います。

日本語能力試験N4～N5(旧試験の3～4級)程度の語彙とは、日常的な場面や身近な話題で使われる日本語が、「ある程度」理解できるレベルです。具体的には、買い物で自分の欲しいものを説明したり、友人と待ち合わせ時間や場所を決めることができる語彙力です。

災害時はN3以上の語彙の使用を避けませんが、生活情報、観光情報を伝えるためには、N4～N5(旧試験の3～4級)程度の語彙では不足することもあります。N4～N5(旧試験の3～4級)レベルの日本語への言いかえが難しい場合は、それ以上のレベルまで語彙を広げることも検討しますが、小学校低学年の子どもでも理解できる程度の文面になるよう、心がけましょう。

例： 記入します → 書きます  
休日 → 休みの日

### 語彙レベル(日本語能力試験のレベル)の確認方法

「日本語読解学習支援システム「リーディング チュウ太」のホームページで確認できます。

URL <http://language.tiu.ac.jp>



## 助詞

方向を表す助詞は「へ」を用いてください。「に」や「で」は用法が数種類にあるのに比べ、「へ」は方向を示す1種類のため、外国人に分かりやすいです。

例: 高台に避難してください。 → <sup>たか</sup>高い <sup>ばしょ</sup>場所へ <sup>に</sup>逃げて ください。

### No.3 災害時によく使われる言葉や、知っておいたほうがよいと思われる言葉は、そのまま使う。その言葉の後に、かっこ書き( )で意味を補足する。

外国人にとって難しいと思われる言葉でも、災害時によく使われる言葉や、日本で生活する上で覚えておいたほうがよい言葉は、そのまま使ってください。そして、その言葉の後に( )を使い、意味を補足します。

例: <sup>よしん</sup>余震<sup>あと</sup>後から <sup>く</sup>来る <sup>じしん</sup>地震<sup>き</sup>に 気をつけて ください。

( )内の補足文が長くなると、文章が読みづらくなることがあります。補足文書が長くなる場合は、一文目に補足なしの文章を載せて、二文目以降で難しい言葉について説明文を入れます。

例: 近くの津波避難場所に避難してください。

→ <sup>ちか</sup>近くの <sup>つなみひなんばしょ</sup>津波避難場所<sup>たか</sup>高い <sup>なみ</sup>波から <sup>に</sup>逃げる <sup>ばしょ</sup>場所。 <sup>ばしょ</sup>まわりの <sup>たか</sup>場所より <sup>やま</sup>高い <sup>おか</sup>山や <sup>おか</sup>丘<sup>に</sup>に 逃げて ください。

→ <sup>ちか</sup>近くの <sup>つなみひなんばしょ</sup>津波避難場所<sup>に</sup>に 逃げて ください。

<sup>つなみひなんばしょ</sup>津波避難場所は <sup>たか</sup>高い <sup>なみ</sup>波から <sup>に</sup>逃げる <sup>ばしょ</sup>場所です。 <sup>ばしょ</sup>まわりの <sup>たか</sup>場所より <sup>やま</sup>高い <sup>おか</sup>山や <sup>おか</sup>丘です。

### No.4 外来語(カタカナ語)はなるべく使わない。使うときは注意する。

外来語は、原語と意味や発音の異なるものが多いため、使用するときには注意してください。バス、ガス、ガラス、テレビ、ラジオなど、日常生活でよく使い、外来語以外での表現が難しいものは使うことができます。

#### 【外来語の例】

ライフライン	日本語では、電気・ガス・水道などの生活に必要な設備のことを指しますが、英語では、「命綱」を意味します。
デマ	ドイツ語の単語を省略して作られたもので、日本人以外には伝わりにくい。
フリーダイヤル	フリーダイヤルはNTTのサービス名で、英語ではない。



## No.5 擬態語や擬音語は避ける。

擬音語、擬態語は外国人には伝わりにくいので、使用を避けてください。

例: ふわふわ、 どんどん、 ガシャン、 サツと など

## No.6 動詞を名詞化したものは分かりにくいので、できるだけ動詞文にする。

例: 揺れがありました → 揺<sup>ゆ</sup>れました

## No.7 あいまいな表現は避ける。

日本語には断定的な表現を避ける傾向があります。以下の表現は使用を避けてください。

### 曖昧な時間や数字を表す表現

例: 「くらい」「ごろ」「ばかり」「ほど」「など」

### 断定的な表現を避けた推測表現

例: 「おそらく」「たぶん」「ようです」「ではないでしょうか」  
「可能性があります」「おそれがあります」

断定的な表現が問題になると思われる場合には、「～かもしれません」という表現を使ってください。  
これは、外国人が日本語を学ぶとき、比較的早い段階で学習する表現だからです。

例: 地震が来る可能性があります → 地震が<sup>じしん</sup>来る<sup>く</sup>かも しれません

### 複数の意味を持つ表現

また、複数の意味を持つ表現は誤解を生みやすいので、一つの意味しか持たない表現を使ってください。

例: 注意してください → 気<sup>き</sup>をつけて ください

## No.8 二重否定の表現は避ける。

「使えないわけではない」、「通れないことはない」などの二重否定の表現は、外国人だけでなく、日本人にとっても混乱を招きやすい表現のため、使用は避けてください。

例: <sup>とお</sup>通れないことはない → <sup>とお</sup>通ることが できます。

## No.9 文末表現はなるべく統一する。

### 丁寧語

日本語教育のほとんどの教科書では、「です」「ます」を使う丁寧語を先に習うため、丁寧語を用いたほうが多くの人に理解してもらえます。

ただし、尊敬語、謙譲語は使わないでください。日本語の文書には尊敬語や謙譲語が多く使われていますので、注意が必要です。

例: <sup>がっこう</sup> 学校へ <sup>い</sup> 行く → <sup>がっこう</sup> 学校へ <sup>い</sup> 行きます

### 指示表現

指示表現の「～ましょう」などは、指示以外にも勧誘の意味もあるので、「～して ください」を使ってください。

例: 気をつけましょう → <sup>き</sup> 気をつけて ください

### 可能・不可能

可能、不可能は、「～れる」、「～られる」ではなく、「～ことができる」という表現を使ってください。

例: 使えます → <sup>つか</sup> 使うことが できます

飲めません → <sup>の</sup> 飲むことが できません

### 使役・受身

使役や受身は、誰が何をしたのかわかりにくい表現です。動作する人を主語にした文に変えてください。

例: 太郎君は先生にほめられました → <sup>せんせい</sup> 先生は <sup>たろうくん</sup> 太郎君を ほめました

先生は生徒に教室を掃除させました → <sup>せいと</sup> 生徒は <sup>きょうしつ</sup> 教室を <sup>そうじ</sup> 掃除しました

## No.10 ローマ字は使わない。

ローマ字は、駅名や地名などの固有名詞を表記するための使用にとどめ、日本語の文を表記することはしないでください。

日本語のローマ字表記は基本的には英語圏の発音に準拠しています。ローマ字のルールを知らない外国人や非英語圏の外国人は、必ずしもローマ字を日本語の発音どおりに読むことができないため、混乱を招く可能性があります。

- Jo(ヘボン式)→「ジョ」がスペイン語圏では「ホ」、ドイツ語圏では「ヨ」と発音
- Chi(ヘボン式)→「チ」がドイツ語圏では「ヒ」、フランス語圏では「シ」と発音
- Ike →「池」をローマ字表記すると、英語圏の人は「アイク」と発音
- Youi suru →「用意する」をローマ字表記すると、「ユーイ スル」と発音
- 促音(っ)の表記が分からない → Gakko(がっこう), Gaidobukku(ガイドブック)
- 長音(-)の記号が伝わらない → Obāsan(おばあさん=おばさん)

なお、文化庁が外国人に行った調査では、ローマ字よりもひらがなやカタカナのほうが読める人の割合が多いことが分かっています。

([http://www.bunka.go.jp/tokei\\_hakusho\\_shuppan/tokeichosa/nihongokyoiku\\_jittai/zaiju\\_gaikokujin.html](http://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/nihongokyoiku_jittai/zaiju_gaikokujin.html))

## No.11 時間や年月日を外国人にも伝わる表記にする。

### 時間は 12 時間表記

例: 15時30分 → 午後3時<sup>ごご</sup>30分<sup>ふん</sup>

### 年月日の表記には、スラッシュを使わない

例: 2017/2/10 → 2017年<sup>ねん</sup>2月<sup>がつ</sup>11日<sup>にち</sup>

### 元号は使わないで、西暦で書く

例: 平成 30 年2月 11 日 → 2018年<sup>ねん</sup>2月<sup>がつ</sup>11日<sup>にち</sup>

### 「〇〇～××」ではなく、「〇〇から××まで」と表記

例: 図書館は 午前<sup>としょかん</sup>8時<sup>ごぜん</sup>30分<sup>じ</sup>から 午後<sup>ごご</sup>5時<sup>じ</sup>15分<sup>ふん</sup>まで 開<sup>あ</sup>いています。

## No.12 漢字の使用量に注意する。全ての漢字にふりがなをふる。

### 漢字の量

漢字を使ったほうが、漢字圏の人には分かりやすいという利点もありますが、使用する割合に注意してください。漢字の量が多いと、それだけで難しく感じます。

同音異義語を書くときは、難しい漢字でも、漢字を使用したほうが分かりやすい場合があります。そのときは、漢字で表記してください。

例: 手を<sup>て</sup>拭<sup>ふ</sup>いて ください

(平仮名で「ふく」にすると、「吹く」に勘違いする可能性あり)

### ふりがな

全ての漢字にふりがなをふってください。

## No.13 文は、文節ごとに「分かち書き(余白を空けて区切る)」にして、言葉のまとまりを認識しやすくする。

文節ごとにスペースを入れて、読みやすくすることを「分かち書き」といいます。文節とは、意味が不自然にならない程度に文を区切ったときの最小単位のことです。

基本的に、文の途中に「ね」を入れて切ってもおかしくないところで区切ります。

例: 今朝、地震がありました。

→ 今日<sup>きょう</sup>の(ね) 朝<sup>あさ</sup>(ね)、地震<sup>じしん</sup>が(ね) ありました。

分かち書きの詳しいルールは、別添『やさしい日本語』のための分かち書きルール(弘前大学社会言語学研究室作成の増補版『やさしい日本語』作成のためのガイドライン抜粋)を参照。

## No.14 絵、写真、図表などを使って分かりやすくする。

「やさしい日本語」への書き換えに加えて、絵や写真を挿入したり、図や表を使って文を構成したりすると、更に分かりやすくなります。

P14の5章(1)外国人住民のための避難生活ガイドブック「やさしい日本語」版参照

## おわりに： 伝達目的を意識する。

選択した文書を実際に「やさしい日本語」にする際には、以上のルールを確認した上で、取り組んでください。ルール No.12 の「全ての漢字にふりがなをふる。」やルール No.13 の「分かち書き」は、最後にまとめて行うこともできます。

日本人を対象に作成した日本語の文書を、ただ単純に簡単な言葉へ書き換えるだけでは、外国人に伝わる「やさしい日本語」にはなりません。「何のために伝えるか」を考えながら、時には原文から大きく変わっても、より伝わりやすいものにすることが大切です。特にタイトルには、外国人に文書の目的がわかることが求められます。

「やさしい日本語」にする際には、常に「目的は何か」ということを意識しましょう。

「やさしい日本語」は相手の外国人に伝わらなくては、意味がありません。ですから、日本語能力が比較的高い外国人にとっては、日本人と同様、不自然に思われるかもしれませんが、できる限り易しくすることを心掛けたいものです。

また、「やさしい日本語」にしたものが、日本語能力が同じくらいの外国人のAさんにはわかっても、Bさんにはわからないということは、しばしば起こります。Aさんが知っている言葉とBさんが知っている言葉には違いがあるからです。「やさしい日本語」に正解はないのです。情報を伝えたい相手の立場を思いやる想像力（「やさしい心」）を持って取り組んでください。



## 4章 練習問題「やさしい日本語」に書き換えよう！

### 問題

#### (1) 基礎問題

- ①(窓口対応) おかけになってお待ちください。
- ②(窓口対応) 身分証明書を見せていただけますか。
- ③(電話対応) 折り返しお電話します。
- ④(納税文書) 支払期限は〇〇です。
- ⑤(緊急地震速報) 地震が来ます。身の安全を確保してください。



#### (2) 応用問題

- ①(医療通訳者養成講座延期のお知らせ:参加者へのメール文より)  
10月22日(日)の講座ですが、台風の接近により安全上の理由から10月29日(日)に延期させていただきました。  
く事になりました。
- ②(職業訓練の募集案内文より)  
オフィス業務に必要とされる基礎的な事務処理技術(ワープロ・表計算)、ビジネスマナーを習得し、日本の労働慣行やコミュニケーションスキルも併せて学習し、職場で求められる能力の向上を目指します。
- ③(住民税納付通知書の補足文)  
今年度途中に出国する場合には、納税通知書の納期未到来分の残額も納付してください。



～解答例は次のページ～

## 解答例

### (1) 基礎問題

- ① (窓口対応)…敬語が難しい→次に何をすればいいかを補足

そこで 椅子に すわって、待<sup>ま</sup>っていて ください。この 番<sup>ばんごう</sup>号を 呼<sup>よ</sup>んだら、来<sup>き</sup>て ください。  
番<sup>ばんごう</sup>号は あそこ<sup>で</sup>に 出<sup>で</sup>ます。

- ② (窓口対応)…「身分証明書」がわからない→身分を証明できる実物大写真を用意/敬語が難しい

車<sup>くるま</sup>の 免<sup>めん</sup>許<sup>きょ</sup>証<sup>しょう</sup>は あり<sup>あ</sup>り<sup>ま</sup>す<sup>す</sup>か。見<sup>み</sup>せ<sup>せ</sup>て ください。

- ③ (電話対応)…「折り返し」がわからない

あと<sup>し</sup>で/調<sup>てん</sup>べてから、電<sup>でん</sup>話<sup>わ</sup>し<sup>す</sup>こ<sup>ま</sup>。少<sup>す</sup>し 待<sup>ま</sup>っ<sup>て</sup>い<sup>て</sup> ください。

- ④ (納税文書)…「支払期限」がわからない

〇〇<sup>ま</sup>で<sup>で</sup>に、お<sup>か</sup>ね<sup>ね</sup>を 払<sup>は</sup>っ<sup>て</sup> ください。

- ⑤ (緊急地震速報)…「身の～」 「確保する」がわからない→何をすればいいかわからない

地<sup>じ</sup>震<sup>しん</sup>が 来<sup>き</sup>ま<sup>す</sup>。危<sup>あ</sup>ぶ<sup>な</sup>い<sup>で</sup>す。タ<sup>た</sup>ンス<sup>す</sup>や ガ<sup>が</sup>ラ<sup>ら</sup>ス<sup>す</sup>の 近<sup>ち</sup>く<sup>く</sup>に い<sup>い</sup>な<sup>な</sup>い<sup>い</sup>で ください。頭<sup>あ</sup>た<sup>た</sup>ま の 上<sup>う</sup>え<sup>え</sup>に  
ク<sup>く</sup>ッ<sup>っ</sup>シ<sup>し</sup>ョ<sup>ょ</sup>ン<sup>ん</sup>を か<sup>か</sup>ぶ<sup>ぶ</sup>っ<sup>て</sup> ください。

### (2) 応用問題

- ① (医療通訳者養成講座延期のお知らせ:参加者へのメール文より)

10月<sup>が</sup>22日<sup>に</sup>(日<sup>に</sup>曜<sup>ち</sup>日<sup>び</sup>)の 勉<sup>べん</sup>強<sup>きやう</sup>は あり<sup>あ</sup>り<sup>ま</sup>せ<sup>せ</sup>ん。台<sup>たい</sup>風<sup>ふう</sup>が 来<sup>き</sup>ま<sup>す</sup>から、危<sup>あ</sup>ぶ<sup>な</sup>い<sup>い</sup>で<sup>す</sup>。10月<sup>が</sup>29日<sup>に</sup>(日<sup>に</sup>曜<sup>ち</sup>日<sup>び</sup>)  
に 来<sup>き</sup>て ください。

- ② (職業訓練の募集案内文より)

コ<sup>こ</sup>ン<sup>ん</sup>ピ<sup>ひ</sup>ユ<sup>ゆ</sup>ー<sup>た</sup>ー<sup>ー</sup>の 勉<sup>べん</sup>強<sup>きやう</sup>が でき<sup>き</sup>ま<sup>す</sup>。ワ<sup>わ</sup>ー<sup>ど</sup>ド<sup>ど</sup>(Word)や エ<sup>え</sup>ク<sup>く</sup>セ<sup>せ</sup>ル<sup>る</sup>(Excel)の 使<sup>つか</sup>い<sup>か</sup>た<sup>た</sup>を 勉<sup>べん</sup>強<sup>きやう</sup>し<sup>ま</sup>す。  
日<sup>に</sup>本<sup>ほん</sup>の 会<sup>かい</sup>社<sup>しゃ</sup>で 働<sup>はたら</sup>く<sup>と</sup>き<sup>き</sup>に 気<sup>き</sup>を<sup>し</sup>ゆ<sup>う</sup>か<sup>ん</sup>ん<sup>ん</sup> 勉<sup>べん</sup>強<sup>きやう</sup>し<sup>ま</sup>す。勉<sup>べん</sup>強<sup>きやう</sup>し<sup>て</sup>、い<sup>い</sup>い<sup>い</sup> 仕<sup>し</sup>事<sup>ごと</sup>を  
探<sup>さが</sup>し<sup>て</sup> ください。

- ③ (住民税納付通知書の補足文)

来<sup>らい</sup>年<sup>ねん</sup>の 3月<sup>が</sup>ま<sup>ま</sup>で 日<sup>に</sup>本<sup>ほん</sup>に い<sup>い</sup>ま<sup>ま</sup>す<sup>か</sup>。い<sup>い</sup>な<sup>な</sup>い<sup>い</sup>人<sup>ひと</sup>は、国<sup>くに</sup>へ 帰<sup>かえ</sup>る<sup>る</sup>と<sup>と</sup>き<sup>き</sup>ま<sup>ま</sup>で<sup>で</sup>に、こ<sup>こ</sup>の お<sup>か</sup>ね<sup>ね</sup>を 全<sup>ぜん</sup>部<sup>ぶ</sup>  
払<sup>は</sup>っ<sup>て</sup> ください。こ<sup>こ</sup>の お<sup>か</sup>ね<sup>ね</sup>は 去<sup>き</sup>年<sup>ねん</sup>の 税<sup>ぜい</sup>金<sup>きん</sup>で<sup>す</sup>。

## 5章 活用事例・提案

(1) 事例：庁内で実際に作成したガイドブック、配布資料、テキスト

課	内容
	<p>外国人住民のための避難生活ガイドブック「やさしい日本語」版</p>  
<p style="writing-mode: vertical-rl;">多文化共生課</p>	<p>地震防災ガイドブック「やさしい日本語」版</p> 



県庁フロアガイド (案内所配布)

広聴広報課

## 静岡県庁フロアガイド

### SHIZUOKA PREFECTURAL OFFICE FLOOR GUIDE

たてもいち  
＜建物の位置＞

にしかん 西館

ほんかん 本館

ひがしかん 東館

利用時間 月曜日から金曜日  
午前8時30分～午後6時15分  
0分 (1時間以内)

車の置き場 156台分

あおぼ青葉  
ちゅうしんせしよ  
駐車場

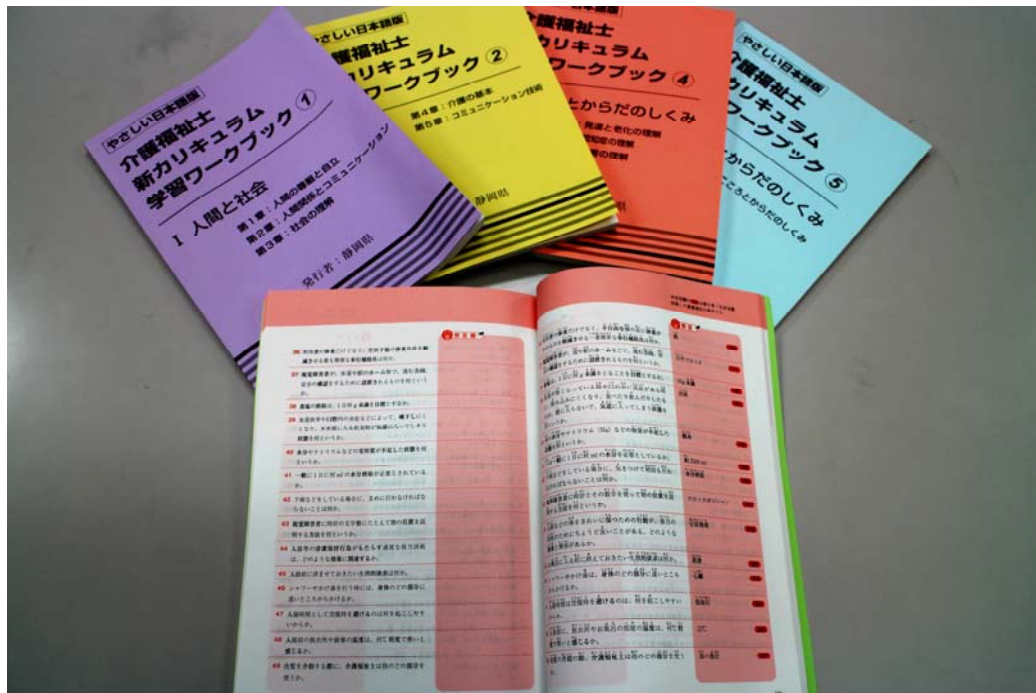
西側	東側
21F	展望ロビー
20F	会議室 食堂・喫茶
19F	警備
18F	
17F	
16F	察
15F	
14F	本
13F	
12F	
11F	部
10F	会議室 休憩コーナー
9F	会議室
8F	会議室
7F	会議室
6F	会議室 危機管理部
5F	危機管理部
4F	危機管理部
3F	機械室
2F	会議室
1F	守衛室

●西館 ● ●本館 ● ●東館 ●

★ 2017年4月 総合案内 ★

介護福祉士国家試験用テキスト (市販の介護福祉士国家試験用テキストをやさしい日本語に書き換え)

介護保険課

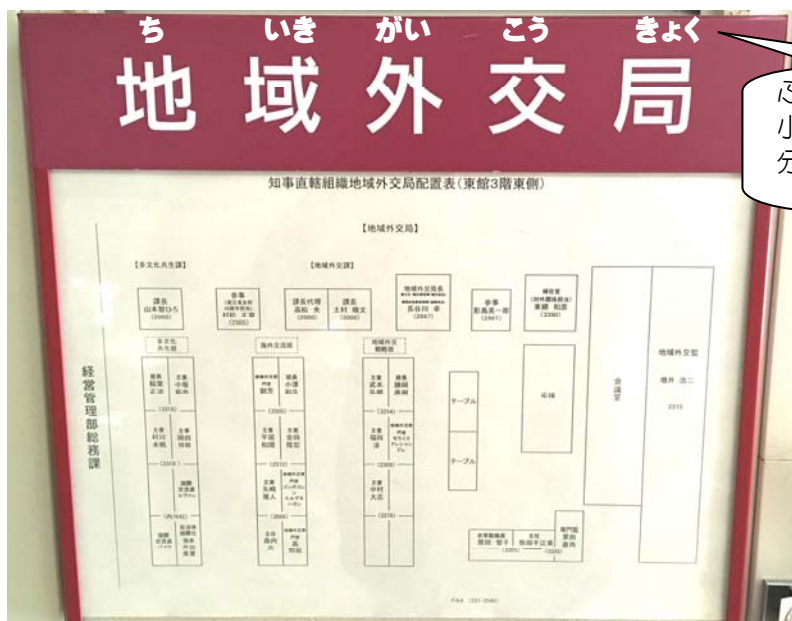


(2)提案：庁内の文書、看板、表示等を「やさしい日本語」に書き換えよう！

「やさしい日本語」表記を必要とする方を対象とした業務を実施している課では、案内表示や文書も「やさしい日本語」に置き換えることを検討しましょう。

以下に、変換例を提示しますので、各課における取組の参考にしてください。

### ア 各局・課の入口の案内表示



ふりがなをふるだけで、外国人の方、小さなお子さん、障害を持った方にも分かりやすい表記になります。

### イ 各課の表記(課長席の頭上)



多文化共生課

ふりがなをふりましょう。



原文

参加者募集

「富士山クリーンアップ登山大作戦  
～富士山で、歩いて、学んで、磨き上げ(ゴミ拾い)～」

静岡県自然保護課では、富士山五合目を歩いて、自然や登山マナーを学び、ゴミ拾いをするイベント「富士山クリーンアップ登山大作戦」を開催します。

参加費は無料で、JR静岡駅、JR富士駅から無料バスに乗れます。富士山に行きたい方は、是非御参加ください。

開催日 2017年10月15日(日)

集合 JR静岡駅南口 7時15分、JR富士駅南口8時15分

参加費 無料

対象 静岡県内在住の16歳以上の留学生

(ただし、定員に空きがある場合は、留学生以外の外国人も申込み可)

解説 日本語のみです。

定員 50名

締切 参加には申込みが必要です。申込み締切りは10月6日(金)

申込方法 名前、住所、郵便番号、年齢、連絡先(メールアドレス、電話)、所属、どこでバスに乗るかを連絡してください。

申込先 静岡県自然保護課

FAX 054-221-3278

Eメール shizenhogo@pref.shizuoka.lg.jp



やさしい日本語 変換例

「富士山に登りませんか？ そして富士山を一緒にきれいにしませんか？」

このイベントに参加するためのお金はいりません。富士山に行きたい人は静岡県自然保護課に申し込んでください。イベントは全て日本語で説明をします。

さんが 参加することが できる人	次の①から③の全てに当てはまる人 ①静岡県に住んでいる人 ②16歳以上 ③留学生（留学生の申込みが少ないときは他の外国人も申し込むことができます。）
イベントの日	2017年10月15日（日曜日）
集まる場所 時間	次の①または②に集まってください。ここからバスで富士山へ行きます。 ①JR 静岡駅 南口 午前7時15分 ②JR 富士駅 南口 午前8時15分
お金	0円（バスのお金もかかりません。）
人数	50人まで
締切	2017年10月6日 金曜日
申し込む方法	次の①から⑧を書いて、メールかファックスで申し込んでください。 ①名前、②住所、③郵便番号、④年齢、⑤メールアドレス、 ⑥電話番号、⑦大学または会社の名前、 ⑧どこからバスに乗るか
連絡先	静岡県自然保護課 FAX番号 ○○—○○—○○○○ Email ○○@○○○○



## エ 自動車税の一斉催告書による指定期限内納付の周知 (SNSでのお知らせ)

### 原文

静岡県磐田財務事務所では、8月18日現在で自動車税を完納したことが確認できない方に対して、自動車税催告書を送付しました。納付指定期限の9月29日(金)までに、金融機関・コンビニエンスストアで必ず納めてください。

※納付後、金融機関からのデータ交換に2週間程度掛かるため、既に納付した方に自動車税催告書が送付されることがあります。

9月29日までに納付も相談もされない場合は、給与・預金・自動車などの財産差押処分をすることとなります。

### やさしい日本語 変換例

静岡県磐田財務事務所では、自動車税を まだ 払っていない人に 催告書(税金)を 払って ください  
という 2回目の お知らせ)を 送付しました。2017年 9月 29日 金曜日までに 必ず 自動車税を  
払って ください。自動車税は 金融機関や コンビニエンスストアで 払うことが できます。  
2017年 9月 29日までに 自動車税を 払わない 場合は、財務事務所が あなたの 給料、貯金、  
自動車などを 代わりに 取ることとなります。



## 6章 参考文献・ウェブサイト

### ○日本語の語彙レベル(級)の確認方法

- ・「日本語読解システムリーディングチュウ太」

URL <http://language.tiu.ac.jp>



### ○「やさしい日本語」を紹介するウェブサイト

- ・弘前大学人文学部社会言語学研究室

URL <http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/>

### ○自治体作成の「やさしい日本語」のガイドブック等

- ・愛知県 「やさしい日本語」の手引き～外国人に伝わる日本語～

URL <http://www.pref.aichi.jp/kokusai/easyjapanese/tebiki.pdf>

- ・横浜市 「やさしい日本語」で伝える 分かりやすく 伝わりやすい日本語を目指して

URL <http://www.city.yokohama.lg.jp/lang/ej/01.standard.all.pdf>

- ・豊橋市 「やさしい日本語」を使ってみよう！～外国人に分かりやすい・伝わりやすい日本語～

URL <http://www.city.toyohashi.lg.jp/secure/29617/やさしい日本語マニュアル.pdf>

## 静岡県庁「やさしい日本語」の手引き

### 【発行】

静岡県県民生活局多文化共生課  
〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6  
電話: 054-221-3316/FAX: 054-221-2642  
Email: [tabunka@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:tabunka@pref.shizuoka.lg.jp)

# 「やさしい日本語」のための分かち書きルール

(弘前大学社会言語学研究室作成

増補版「やさしい日本語」作成のためのガイドラインより抜粋

<http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/ej-gaidorain.pdf>)

### Ⅲ-⑥ 「やさしい日本語」のための分かち書きルール

「やさしい日本語」には、文を分かち書きにするというルールがあります。ここでは、掲示物等で「やさしい日本語」を使用する際の分かち書きの仕方について、詳しく説明します。

この分かち書きルールは外国人留学生 21 人にアンケートを行い、確実に情報が伝わるかや、誤解を生じることがないかなどについての検証を行いました。

また、この分かち書きルールは社会言語学研究室が提案する「やさしい日本語」のためのルールですので、一般に使われる学校文法のそれとは少し異なる点があります。

「やさしい日本語」のための分かち書きルールには、2 つの基本ルールと 1 つの例外ルールがあります。

#### 基本ルール 1

#### 文節の間に余白を空けて区切り、分かち書きにする

- 文節とは・・・文章を意味のまとまりで区切った単位のことです。
- 分かち書きとは・・・文節の切れ目ごとに余白を設けることです。



分かち書きにすることで、外国人は文の意味を理解しやすくなります。

それでは、ある 1 文をどのように分かち書きにすればいいのでしょうか。

『やさしい日本語』の作成ルール」の P6 では、文の途中に「ね」や「き」などのことばを入れても不自然にならないところで分かち書きをすると説明しています。

例 1) 津波が来ます

⇒津波が<sup>るなみ</sup>ね<sup>き</sup>来ます

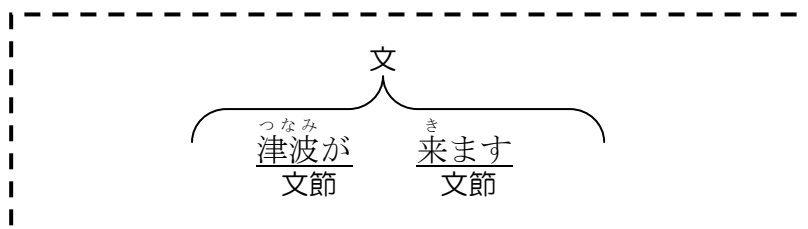
これを文法的に説明すると、自立語の前で区切るということになります。



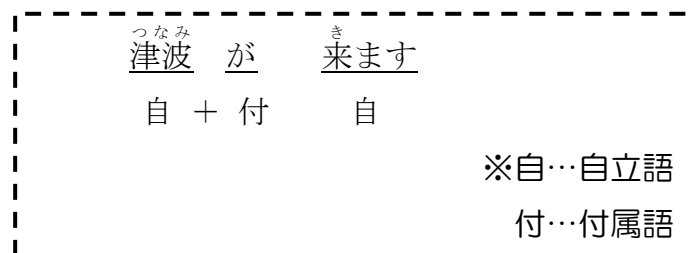
## 《自立語と付属語》

文法的な面からもう少し詳しく解説します。

ひとつの文は複数の文節からなります。



そして、文節は自立語だけ、あるいは自立語プラス付属語で構成されています。



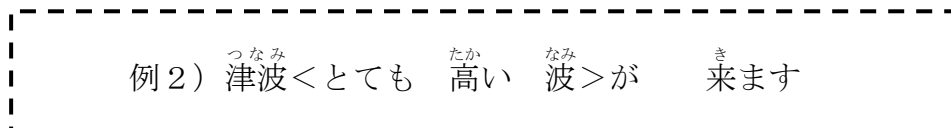
自立語とはその語だけで意味を持ち、文節を構成することができる語のことです。具体的には、名詞、動詞、形容詞、形容動詞、副詞、連体詞、接続詞、感動詞を指します。

付属語とは自立語に対して、その語だけでは文節を構成することができない語のことです。助詞や助動詞を指します。

## 《文節の区切り方》

文節とは、文を意味のまとまりで区切った単位のことです。つまり、文節は1つの自立語のみ、もしくは自立語とそれに接続する付属語によって構成されていると言えます。言い替えると、文節は必ず自立語から始まるということになるので、文節は自立語の前で区切ると考えましょう。

このことを踏まえて「やさしい日本語」の文章を分かち書きしてみました。難しい語の言い換えや、ルビも加え、「やさしい日本語」の表記にしています。



<>の中も分かち書きするのを  
忘れないでくださいね



## 基本ルール2

### 「つなげる語群」は分かち書きにしない

基本ルール1では、文節を自立語の前で区切って分かち書きにすると説明しました。しかし、自立語である名詞・動詞・形容詞には、その語本来の意味や独立性が弱くなっていて、おまけのように使われているものがあります。それらは補助動詞、補助形容詞、形式名詞などと呼ばれています。

例えば、「痛くなる」の「なる（補助動詞）」、「壊れやすい」の「やすい（補助形容詞）」、「食べること」の「こと（形式名詞）」などです。これらを漢字で書くと、「成る」「易い」「事」なのですが、使われ方を見てもわかるように、その語が持っている本来の意味が弱まってしまっています。すなわち語としての独立性が弱いと考えるわけです。

動詞や形容詞、名詞は自立語ですから、基本ルール1に則って、文節として独立させるべきです。しかし、補助動詞、補助形容詞、形式名詞を含む「つなげる語群」（※後述）は、その意味の弱まりから、「やさしい日本語」では文節として独立させず、前の節に続けることとしました。分かち書きをしないことで、外国人にとって意味が取りやすくなるためです。

また、「病気になる」の「なる」や、「仕事をする」の「する」といった助詞に続く「なる」と「する」も、アンケートでは分かち書きをしないほうが外国人にとってわかりやすいという結果になりました。そのため「なる」と「する」も「つなげる語群」に含んでいます。

### ～間違いやすい代表例 Best 3～

**1位**：準備を して ください

⇒正解は…「準備を**して** ください」

(※「して」は「する」の活用なので「して」も分かち書きをしません)

**2位**：熱中症に ならないように 気をつける

⇒正解は…「熱中症に**ならないように** 気をつける」

**3位**：止まるかも しれません

⇒正解は…「止まるかも**しれません**」

(※「しれない」は「知る」という本来の意味が弱まっているため分かち書きをしません)

## 《つなげる語群一覧》

ここでは「やさしい日本語」で使用されることが考えられる「つなげる語群」について説明します。「つなげる語群」とは、「やさしい日本語」の文において、前の語と必ず接続することばのグループです。それらを具体的に挙げます。

～おく ～ある ～みる ～いる ～くれる ～しまう ～する  
～いく ～くる ～あげる ～なる ～やすい ～にくい  
～ない（「ぬ」に言い換えられないもの） こと ところ とき もの  
人 ～のよう ～のため くらい

※「気をつけて」の「つけて」と、「～かもしれない」の「しれない」も独立性が弱まっていると見なし、分かち書きをしません

## ～「ある」と「いる」コラム～

「ある」と「いる」は、「困っている」や「置いてある」のように状態を表している場合と、「医者がある」や「そこにある」のように存在を表している場合があります。

状態を表す「ある」と「いる」は先ほどの「つなげる語群」に含まれているため、分かち書きはしません。しかし、存在を表す「ある」と「いる」は本来の意味がそのまま使われている独立性の強い語であるため、基本ルール1に則り分かち書きにします。

このように、同じ語であるのに場合によって分かち書きのルールが変わってしまうのは、みなさんにとって分かりづらいものとなります。

そこで、存在を表す「ある」と「いる」は、助詞の「は」「も」「の」「が」「に」に続くことから、

「刃物蟹（ハモノガニ）」に続く「ある」と「いる」は分かち書きをするというように覚えると、分かりやすくなります。



## 例外ルール 1

### 「ください」と「ところ」は分かち書きにする

「～くれる」の敬語である「ください」は、本来「つなげる語群」に含まれる独立性が弱まった補助動詞ですが、前の節につなげると一文節が長くなってしまいますので、分かち書きにすることとしました。

また、「ところ」は「やさしい日本語」で使用するとき、「出かけるところだ」のような時間の一地点を示す使い方ではなく、「楽しいところがある」のような場所を示す使い方をする場合ほとんどです。そのため、「やさしい日本語」で使用する場合には、語の独立性はそれほど弱くないと考えました。

以上のことから、「ください」と「ところ」は例外的に分かち書きにします。

それでは、「やさしい日本語」文を分かち書きにした例を見てみましょう。

例 1 コンビニが開いています

コンビニ/<sup>あ</sup>開い/て/い/ます

名詞/助詞 動詞/助詞/補助動詞/助動詞

「開いています」は「開いている」の丁寧な表現です。この「いる」は本来の意味が弱まっているので、分かち書きをしません。

例 2 頭の上に気をつけてください

<sup>あたま</sup>頭/<sup>うへ</sup>の <sup>き</sup>上/<sup>き</sup>に 気/<sup>き</sup>を/つけ/て ください

名詞/助詞 名詞/助詞 名詞/助詞/補助動詞/助詞 補助動詞

「気をつけて」の「つけて」は語としての独立性が弱いいため、分かち書きをしません。「ください」も語の独立性は弱いですが、前の語と連結させてしまうと一文が長くなってしまうため分かち書きをします。

例 3 建物が壊れやすいです

<sup>たてもの</sup>建物/<sup>こわ</sup>が 壊れ/<sup>こわ</sup>やすい/です

名詞/助詞 動詞/補助形容詞/助動詞

「壊れやすい」の「やすい」は「易い」という本来の意味が弱まっているので、分かち書きをしません。

## 分かち書きルールに基づく分かち書き一覧

「やさしい日本語」の分かち書きルールを一覧表にしてみました。また、例外ルールを適用するものと同じ語彙でも分かち書きルールが変わるものには網かけをしています。

語彙	使用例
する	・準備(を)する ・用意して ・仕事をさせる
なる(成る)	・必要になる ・取らなければならない
ある(有る)	・置いてある ・臨時便が あります
いる(居る)	・困っている ・医者が いる
くる(来る)	・逃げてくる
ついて(就いて)	・放射線について
しれない(知れない)	・危ないかもしれません
いく(行く)	・持って行って
ない(無い)	・カードなどがなくても
はじめる(始める)	・作りはじめる
くれる	・紹介してくれる
あげる	・助けてあげる
もらう(貰う)	・払ってもらう
とる(取る)	・受け取る
しまう	・死んでしまった
~にくい	・流れにくく
~やすい	・なりやすい
こと(事)	・使えること
とき(時)	・帰ったとき
もの(物)	・必要なもの
人	・背が 高い人
よう(様)	・絵のように
ため(為)	・ならないために
くらい(位)	・どのくらい
ところ(所)	・作った ところ
ください(下さい)	・行かないで ください